

## 新図書館の概要等について

### 1 整備に至る経緯等

現在の県立図書館は昭和48年、高知市民図書館は昭和42年に建設され、いずれの施設も狭隘化、老朽化が課題であることから両図書館を合築により整備し、また、新点字図書館(1F)と高知みらい科学館(5F)を併設した複合施設として整備することで、様々な人々の交流を深め、県内の生涯学習や文化の発展に寄与するとともに、県民・市民の暮らしと仕事の中で起きる様々な課題解決を支援する知的・文化的な基盤とすることとした。

- ・平成23年3月 基本構想を決定
- ・平成23年7月 新図書館等複合施設整備基本計画を決定
- ・平成25年8月 新図書館等複合施設等実施設計を完了
- ・平成26年7月 建築主体工事着工
- ・平成27年6月 県と高知市の図書館システムを統合
- ・平成27年7月 東洋ゴム工業(株)製免震装置問題により、開館時期が平成30年7月以降となる見込み
- ・平成27年9月 新図書館等複合施設の愛称決定(オーテピア)
- ・平成27年9月 こども科学館(仮称)の名称決定(高知みらい科学館)
- ・平成27年10月 県立図書館にセルフ式貸出機を導入

### 2 新図書館の概要等

- ◆複合施設の2、3、4階(17,763.57㎡)(※1階:新点字図書館、5階:高知みらい科学館)
- ◆閲覧室 615席(4階学習室を除く)  
※現状…約300席(県立:約200席、市民本館:約100席)
- ◆諸室 2、3階:グループ学習室 5室、静寂読書室 4室、研究個室 9室、対面音訳室 3室  
4階:学習室 96席、郷土史研究室、図書館事務室など
- ◆集会機能 ホール120席(机なし200席)、研修室 90席、集会室 72席
- ◆収蔵能力 約205万冊  
(うち開架約35万冊 ※現状…約27万冊 県立:約13万冊、市民本館:約14万冊)
- ◆貸出冊数 約110万冊(目標:H22実績の2倍以上)  
※現状…約52万冊(県立:約18万冊、市民本館:約37万冊 H26実績)
- ◆入館者数 約100万人(目標:複合施設利用者)  
※現状…約62万人(県立:約24万5千人、市民本館:約37万5千人 H26実績)
- ◆その他
  - ・駐車可能台数 100台(1Fピロティ 40台、地下機械式 60台)
  - ・レファレンス・サービスのための専用カウンターと担当司書を配置
  - ・中高生向けの資料コーナー、外国語資料等のコーナーを新設
  - ・無線LANによるインターネット接続環境を整備(持ち込んだパソコンを利用)